

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

トーヨーカネツ株式会社（証券コード: 6369）

【据置】

長期発行体格付	BBB
格付の見通し	安定的

■格付事由

- 1941年設立。物流システムの設計や販売を行う物流ソリューション事業、タンクの製造やメンテナンスを手掛ける機械・プラント事業、不動産賃貸や産業用設備販売などのその他事業を展開する。物流ソリューション事業では多様な顧客との強固な取引基盤を構築しており、空港向けの手荷物搬送システムなどで高シェアを有する。機械・プラント事業では常温貯蔵からLNG極低温貯蔵のタンクまで幅広く手掛け、全世界に5,700基を超える納入実績がある。
- 世界的なタンク需要の低迷により機械・プラント事業の業績不振が続いており、当面その本格的な回復は見込みづらい。しかしEコマース需要の拡大に伴い物流ソリューション事業の業績が堅調な上、その他事業も不動産賃貸収入等が安定しており、当面は現状程度の業績・キャッシュフロー水準を維持可能と考えている。財務構成は良好であり、今後も特段の懸念はない。以上より格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 21/3期営業利益は21億円（前期比16.7%減）の見通し。前期に計上した物流ソリューション事業における好採算案件の反動減が主因である。新型コロナウイルスの感染拡大によって、物流ソリューション事業における一部工事の遅れ等が懸念されるものの、業績に大きな影響は生じないと現状では考えている。機械・プラント事業では、LNGの需給動向などから見てタンクの新規受注には時間を要する可能性が高い。物流ソリューション事業では空港関連の案件が一巡しつつあるものの、物流センターの自動化設備の増加などによって中期的にも堅調な受注推移が想定される。
- 20/3期末自己資本比率は56.7%（前期末54.4%）である。近年は継続的な自己株式の取得などにより自己資本の増加が進んでいないものの、特段大規模な設備投資も実行されておらず、財務諸比率は良好な水準が維持されている。当面のキャッシュフローの見通しや設備投資計画などから見ても、現状の健全な財務内容が損なわれる懸念は小さい。

（担当）里川 武・外窪 祐作

■格付対象

発行体：トーヨーカネツ株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2020年7月21日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：里川 武
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「機械」(2011年12月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) トーヨーカネツ株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル